

令和7年第三回定例会
神奈川県議会vol.
10お だ た か ひ さ
小田貴久

令和7年第三回定例会において、かながわ未来会派を代表して、提案された諸議案等に対して、賛成討論を行いましたので、一部抜粋して紹介いたします。

県議会では提案された議案や報告等の他に、各常任委員会の所管事項に対しても質疑を行うことができます。各テーマにおける当会派の考えの一端が、お伝えできると考えております。

私 は、かながわ未来神奈川県議会議員団を代表し、今定例会に提案された定県第85号議案「令和7年度神奈川県一般会計補正予算(第3号)」及びその他の諸議案等について、所管常任委員会での審査結果を踏まえ、討論を行います。

県政はいま、経済・社会の構造変化や財政の制約など、かつてない課題の渦中にあります。日産自動車追浜工場の生産終了や米国関税措置の強化といった経済・産業構造の変化は、地域社会に大きな影響を与えることが懸念されます。また、県民の安全を揺るがす痛ましい事件の発生や、県民生活を圧迫し続ける物価高騰、県財政における大幅な財源不足の見通しなど、社会・経済・財政のあらゆる分野で不確実性が高まっています。こうした状況のもと、県政には、県民の暮らしをしっかりと支える対応と、将来を見据えた持続可能な地域社会の構築がこれまで以上に求められます。行政には、柔軟性と戦略性を高め、未来志向で、先を見通した政策を積極的に展開する姿勢を強く期待し、討論に入ります。

まず、「令和8年度予算編成方針について」です。



予算編成においては毎年多額の財源不足からのスタートとなっており、来年度についても限られた財源を最大限に有効活用することが求められます。既存事業の成果や効率性を検証し、

必要性の低い事業の整理を行うとともに、県民の暮らしや地域経済に直結する真に必要な事業に重点投資を行うことを求めます。また、限られた財源の中で成果を最大化するための「スクラップ・アンド・ビルド」を徹底し、既存事業の見直しと新規事業の優先順位を明確にした上で、県民に成果が分かりやすく示される予算の編成を求めます。さらに、過去の決算額や不用額の推移を踏まえた精緻な予算見積もりを行い、デジタル化や民間活力の活用による事務の効率化やコスト削減により、限られた人的・財政資源を最大限活用できる仕組みの構築を求めます。

次に、「人身安全関連事案について」です。

川崎市内におけるストーカー事案等に対する検証によって、本事案の対応におけるいくつかの不適切な点が明らかになりました。今回の事案が、警察の体制全体に課題があったことを踏まえ、今後は対処体制の一層の強化が急務です。その際、現場警察官の負担が今以上増えることのないよう、組織を挙げて改善に努め、同様の事案で助けを求める県民が二度とこのような被害にあうことがないように求めます。また県では、特別チームを立ち上げて、ワンストップで支援につながる仕

(裏面に続く)→

小田貴久プロフィール

- 1982年(昭和57年)4月9日生まれ。
- 相模原協同病院生まれ、西橋本出身。
- 橋本幼稚園(長友学園)、市立橋本小学校、市立旭中学校。
- 県立相模原高校、中央大学法学部卒。
- 大和証券株式会社で資産コンサルタントを経験後、衆議院議員・もとむら賢太郎事務所秘書。
- 2011年4月 相模原市議会議員に当選。以降3期まで連続当選。
- 2023年4月 神奈川県議会議員に初当選。

【趣味】テニス、宝塚歌劇団などの舞台鑑賞
【家族】妻(会社員)、娘、犬(ペキニーズ)



小田貴久 政務活動事務所

〒252-0143 相模原市緑区橋本6-17-3 広木ビル1階-2

TEL 042-703-8858 FAX 042-703-8859

E-mail: sagamihara@oda-takahisa.net

小田貴久の県政活動をお届け



公式LINE



公式HP